

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19671001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	化学物質が引き起こす野生動物の病態と感受性決定機構の解析	研究代表者 (所属・職)	石塚 真由美（北海道大学・大学院獣医学研究科・准教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>環境汚染化学物質に暴露されることによって生じる野生生物の病態、および化学物質に対する感受性を決定する因子の生物種差の解明を目指して、研究は順調に実施されていると考えられる。特に化学物質感受性の種差を作り出す分子機構の研究は着実に進展しており、期待された成果を挙げている。また、研究成果の公表も積極的に行われており、高く評価できる。</p> <p>一方、様々な困難を伴うアフリカでのフィールド調査を基にした検証研究の一部には遅れも見られ、研究成果の発表もまだ限られているので、今後の進展を期待する。</p>	

【平成24年度 検証結果】

検証結果	<p>本研究は、アフリカにおける実試料を用いたフィールド調査と国内における実験研究を組み合わせたものである。フィールド調査の困難性を克服し、化学物質のリスク、感受性における種差に関する研究を活発に進めた。種差を作り出す分子機構を解析するなど、優れた成果が挙げられた点は高く評価できる。また、研究成果の公表も積極的に行われている。</p>
A	